
日常の想い

成瀬寛人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日常の想い

【Zマーク】

Z2510D

【作者名】

成瀬寛人

【あらすじ】

日常生活で感じた事を書いてあります。

(前書き)

この詩・言葉は、あくまで個人的な見方ですので、「ご了承下さい」。

ここでは日常生活の上で想つた事、考えた事を箇条書きのよつなどともとても短い詩のような一言で綴ります。正直ほどんど趣味での哲学や思想みたいになつてます。

もしかすると、詩とは言えないのかもしません。でも、一人でも多くの人に共感していただき心響いたらと真剣に想つています。初めて書くので、うまく書けずに趣旨からそれでしまうかもしれませんが、よろしくお願ひします。

では、最後までは非読んでみて下さい。

どんな時も時間は川のように流れている

だけど流されているのど、泳いでいるのでは全く違う

魚は水がないと生きていけない

だけど、水は魚が居なくてもいいんだ

もし神様が居たら何を聞きたい？

私は一つ聞きたい事がある

私がしてる事は…間違ってるの？って

でも神様はきっとこう言つと思う

あなたの思った通りにしなさい。ってね

人間は…悩んだ結果より、悩んだ事に意味がある
なんとなく身に覚えがある

悩んでも悩んでも仕方ないのに…

悩ましくは居られない、そんな時がある

人つて自分が大切なかも

だから、自分の殻に閉じこもって身を守つてる

自分で作った壁や殻のせいで前に進めなくなってる

だけど、どうやつたら壊れるかわからない

作り方は知ってるのに壊し方を知らない

だから、壊してもらいたくて周りの環境を変えている。周りのせいにしてる

もしかすると壊せるのかもしれない。

だけど、壊した事がないから怖いんだと思う

でも…一度ぐらい、壊してみたい

失敗したらその時はその時。失敗なんてどうでもいい

なら、失敗しに行こうじゃないか

ダメもとでさ

本当に大切な事、本当に大切な気持ち、時々何かに隠れて見えなくなるかもしねー…

もしその時見えなくとも…本当に大切な物は必ずどこかに存在してる。

ゆっくり目を閉じて

その事を決して忘れないで…

誰かの願いがかなう時…誰かの願いが消える
誰かが幸せな時…誰かが不幸になつて
誰かが笑つて居る時…誰かが泣いている

人はどうして同時に幸せになれないんだ？つ
ゆっくり周りを見て見ると…

誰が上がり調子の時、誰かが下がり調子。

人は大切なものを失つてから大切さに気がつく。
なんで失う前に気がつかないかつて？

大切だから失つた事がないんだよ。

考えるのが嫌ならなかつた事にすればいい。
無理矢理考えると、なにがほんとの事かわからなくなる。時に嘘になる。

わからないなら、なかつたのと同じ
わからぬ事を考へてもわからないまま
もし真実を知つたところで満足はしない。
なら、知らない方が良いかもしけない

あの時あーすればよかつた…

あの時に戻りたい…

こうやつて過去を悔やんだり、後悔する。
確かにもう過去には戻れないし、変えられない。
でも…未来は変えられる。

あの時ではなく今どうするか考える事が一番大切なのかもしれない
だけど、時には過去の事を想つてもいいんじゃないかなあ？
だって過去があるから今がある

運命は残酷かもしれない…

自分の不運を嘆くかもしれない…

不運を悔やむかもしれない…

その不運はかわせたかもしれないし、かわせなかつたかもしれない…

だけど、その不運で残酷な運命は過ぎた事。受け入れないといけない。

だけど…すぐには受け入れないかもしれない…

でも決して拒まないで、目をそらさないで…

その運命は誰のものでもない。自分自身の運命だから

戻らない過去

消えてゆく思い出

忘れる事が出来ないあなたの存在

あなたが居ない世界で生きなくてはいけないのに…

あなたの存在を感じる

そして…この胸のどこかが…苦しくて…
切ない…

生きてる事

心臓が動いていて、脳が死んでないければ生きてるって事?
じゃあ…生きてる意味は?

あなたが私を見ていてくれる事

(後書き)

これ小説じゃなーじやんーって思いになる方は多く居ると想いますが、そう思われる内容なのは事実です。『めんなさい』でも、最後まで読んで下さりありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2510d/>

日常の想い

2011年1月13日08時04分発行